

児童生徒の実態や職員が変わっても、サステイナブルな運営ができるように、
【参考資料 1】それぞれシート（記入例）と作成手順

① 担任が網掛け部分

基本情報、1-②本人保護者の希望を記入。

それぞれの形で社会参加をめざすための自立活動の授業をつくろう！シート（記入例）

それぞれシート

生徒名（仁ジャル）	A A	学部・学年・学級	高等部・第(3)学年・(Ⅱ)類型・(重複)学級
疾患名	精神疾患(不安障害、対人恐怖症、抑うつ)、クローン病		
家庭・その他	母子家庭、週 2 日デイを利用、特撮ヒーロー作品を楽しんでいる。本屋等に一人で歩いて行っている。母とはよく話し、大声でけんかもする。母が自分の理解者と捉えている。		
学校での様子	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ではほぼ発語なし。自分の考えをしっかりとっており、言葉は少ないが、ゆっくり時間をとると必要なことを伝えることができる。特定の友達と趣味の話をする。 ・集団の中での活動が苦手で、教室での授業には参加せず、個別室で下学年、下学部の課題学習をしている。課題への取り組みがなかなか進まない。 ・卒業式参加を希望しているが、集団参加の練習は進んでいない。 		

1. 実態の把握

① 興味・関心、学習や生活の中で見られる長所や良さ、短所等、生徒の実態を自立活動の6区分の視点で整理する					
実態	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	生活リズムの形成	社会参加の促進
長所		・給料で好きなものを買いたいという目標があり、就業意欲がある。	・登下校のあいさつなど、周りに対して礼儀正しい。 ・敬語を使うことができる。		
短所	・食事制限があるが、コントロールできていない。 ・肥満	・自分の気持ちを話すのに時間がかかる。 ・中学校の同級生と会うことを嫌いバスの時間をずらす。	・あまり関わりのない人には言葉が出ない。(社、英) ・集団の中での活動が苦手で、教室での授業には参加できない。		・同年代の女子から声をかけられるのが苦手である。

② 全教科担当者、担任で

生徒の実態を 6 区分に分類し記入。
集団への参加の形を場面に分けて記入。

3-③集団参加への配慮事項を記

② 将来の希望、なりたい自分像

本人	・具体的ではないが、「お金が入る仕事がしたい。」という希望があり、収入のある仕事に就くことを望んでいる。	保護者	・社会に出て、自分で生計を立てるなど、自立した生活を送ってほしい。
----	------------------------------------------------------	-----	-----------------------------------

③ 集団への参加

A 他人と場の共有ができない。家から出られない	B 限られた人と関係が持てる。 国、社、数、理(座学)英、体、美、家	C 3者以上で同席できる。 面談 特定の人 理(実験)、音、家(調理)	D 校内の集団の場に参加することができる。 校外学習 自活(ゲームなど) 就業体験参加(2/10日)	E 学校外の一般社会で自立して参加できる。 バスで本屋、レンタルショップに一人で行く。
-------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------------	-------------------------------------------------------------	------------------------------------------------

2. 課題の抽出

(1-①にあげた中から)

③ 担任が 1-①の表から社会的自立に向けて課題となる事項を選び、アンダーラインを入れる。

④ 担任が3-①②の内容の選択と指導目標の選択をし、

3. 目標の選択及び指導内容の設定

① 自立活動の内容の選択(学習指導要領による6区分27項目から) ※該当する項目にチェックを入れる。

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
<input type="checkbox"/> 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること <input checked="" type="checkbox"/> 病気の状態の理解と生活管理に関すること <input type="checkbox"/> 身体各部の状態の理解と養護に関すること <input type="checkbox"/> 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること <input type="checkbox"/> 健康状態の維持・改善に関すること	<input checked="" type="checkbox"/> 情緒の安定に関すること <input type="checkbox"/> 状況の理解と変化への対応に関すること <input type="checkbox"/> 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること	<input type="checkbox"/> 他者とのかかわりの基礎に関すること <input type="checkbox"/> 他者の意図や感情の理解に関すること <input checked="" type="checkbox"/> 自己の理解と行動の調整に関すること <input checked="" type="checkbox"/> 集団への参加の基礎に関すること	<input type="checkbox"/> 保有する感覚の活用に関すること <input type="checkbox"/> 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること <input type="checkbox"/> 感覚の補助及び代用手段の活用に関すること <input type="checkbox"/> 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること <input type="checkbox"/> 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること	<input type="checkbox"/> 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること <input type="checkbox"/> 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活に必要な基本動作に関すること <input type="checkbox"/> 身体の移動能力に関すること <input type="checkbox"/> 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること	<input type="checkbox"/> コミュニケーションの基礎的能力に関すること <input type="checkbox"/> 言語の受容と表出に関すること <input type="checkbox"/> 言語の形成と活用に関すること <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション手段の選択と活用に関すること <input checked="" type="checkbox"/> 状況に応じたコミュニケーションに関すること

② 指導目標(森川)の選択 ※該当する項目にチェックを入れる。

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
<input checked="" type="checkbox"/> 自分の心身の状態を理解できる。(2) <input type="checkbox"/> 必要に応じて自分の体調などを周囲へ伝えることができる。(2)(4) <input type="checkbox"/> 生活の中で適度な運動をしている。(1) <input type="checkbox"/> 体調の自己管理ができる。(5)	<input checked="" type="checkbox"/> 自分が不安なく入れる集団の規模を理解・選択し、必要な関わりを持つことができる。(1) <input checked="" type="checkbox"/> 自分の気持ちをコントロールして継続した活動ができる。(1) <input type="checkbox"/> 学校生活の中で実際の成功体験を積み重ねる。(1)	<input type="checkbox"/> ある程度の自己理解ができる。(1)(2) <input type="checkbox"/> ある程度の他者理解ができる。(3) <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な視点を持つ。(1)(3) <input type="checkbox"/> 社会のルールやマナーを知る。(4) <input checked="" type="checkbox"/> 段階的に人と関わる経験を積む。(1~4)	<input type="checkbox"/> それぞれが可能な情報収集の方法を持つ。(4) <input type="checkbox"/> 集めた情報から状況を把握する。(4) <input type="checkbox"/> 周囲の状況を判断し行動することができる。(5)	<input checked="" type="checkbox"/> 日常生活動作を支える身体をつくる。(1)(2) <input type="checkbox"/> 日常生活動作ができる。(3) <input type="checkbox"/> 社会的な場面における移動能力を持つ。(4)	<input type="checkbox"/> コミュニケーションの場や手段(ICT、その他通信機器)を共有する。(1) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションの成功体験を積む。(1) <input type="checkbox"/> 他者の表現を正確に受け取ることができる。(2) <input checked="" type="checkbox"/> それぞれの方法で自分の意思を発信することができる。(4) <input type="checkbox"/> 援助・支援を要請することができる。(5)

③ 具体的な指導内容を設定

〈個別〉	〈集団参加への配慮事項等を記入〉。
①登校時に今日の予定、担当者、参加の仕方、下校の時間、今の気持ちを確認する。 ②web 中継で、常時学級や行事の取り組みの様子を視聴できる環境を設定。学級の様子や雰囲気を知り、安心感と学習の機会を確保することを狙う。卒業に向け、学級への帰属意識の育成と、段階的に学級活動への参加の意欲を促す。 ③下校時に今日の振り返り、次の日の予定の確認、参加の仕方、今日の気持ちを確認。 ④将来の目標や、それをかなえるための日々の具体的な方法について話し合いを繰り返す。 〈今後の指導内容〉 ○事業所見学(個別) ○行事カレンダー掲示(個別)	〈集団〉 ①ゆっくり待つことで本人の発語が促される。(学)仮面ライダーの話題を振ると饒舌になる。(学、数、美、国) ②はつきりと苦手とわかる要素は避けることを本人と確認すると安心して活動ができるときがある。(学) ③学級活動の参加から目指し、段階を踏みながら校内行事や校外学習、就業体験の参加へと広げていき、その活動を通してローピングの方法を発見し、いろいろな集団の中でも安定した気持ちで過ごせるようにする。(学) ④必要性の高い就業体験や校外学習で施設を見学する機会を増やし、自分に合った適正な集団規模を知る。心的安定の下で働ける、適切な就労先を見つけ、自ら選択する力を付ける。(学) ⑤〇〇君がいると教室に入った。(学)実験を予告すると理科室にて授業を受けた。(理) ⑥面談では玩具屋への将来の希望をはっきり伝えていた。(進) 〈今後の指導内容〉 ○eSports のゲームに参加 ○校外学習(メインブレイス)と事業所見学をセットで体験

☆ 記入 : ■■■ 担任・担当(根路銘)、美(孝)、家・技(殿村)

⑤ 担任が、個別と集団の指導内容を指導目標とつなぎ具体的な内容を記入。


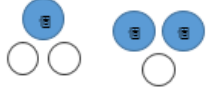
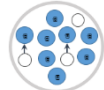
【参考資料 2】活動指導略案

身も心もリラックス&リフレッシュ！

日付 1 校時帯状

担当:授業者名

指導目標（森川）の選択					
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
<input checked="" type="checkbox"/> 自分の心身の状態を理解できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて自分の体調などを周囲へ伝えることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 生活の中で適度な運動をしている。(1) <input checked="" type="checkbox"/> 体調の自己管理ができる。	<input checked="" type="checkbox"/> 自分が不安なく入れる集団の規模を理解・選択し、必要な関わりを持つことができる。 <input type="checkbox"/> 自分の気持ちをコントロールして継続した活動ができる。 <input type="checkbox"/> 学校生活の中で実際の成功体験を積み重ねる。	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度の自己理解ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度の他者理解ができる。 <input type="checkbox"/> 客観的な視点を持つ。 <input type="checkbox"/> 社会のルールやマナーを知る。 <input type="checkbox"/> 段階的に人と関わる経験を積む。	<input type="checkbox"/> それぞれが可能な情報収集の方法を持つ。 <input type="checkbox"/> 集めた情報から状況を把握する。 <input checked="" type="checkbox"/> 周囲の状況を判断し行動することができる。	<input checked="" type="checkbox"/> 日常生活動作を支える身体をつくる。 <input type="checkbox"/> 日常生活動作ができる。 <input type="checkbox"/> 社会的な場面における移動能力を持つ。	<input type="checkbox"/> コミュニケーションの場や手段（ICT、その他通信機器）を共有する。 <input type="checkbox"/> コミュニケーションの成功体験を積む。 <input checked="" type="checkbox"/> 他者の表現を正確に受け取ることができる。 <input type="checkbox"/> それぞれの方法で自分の意思を発信することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 援助・支援を要請することができる。

集団の段階付け・場所・(想定生徒)			
B. 限られた人と関係が持てる。 	C. 3 人以上で同席、教室 	D. 校内の集団の場に参加することができる。 	E. 学校外の一般社会で自立して参加できる。


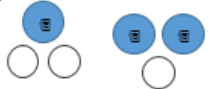
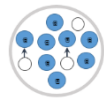
授業案(簡) ・ 内容等	1. 带状自活の目的～心身の安定を図りながら安定した登校を目指す～ ①心身の健康状態を知ることができる ②毎日の日程を確認し、活動内容に見通しをもって取り組むことができる ③教師と相談しながら、活動内容や活動量を決めとりくむことができる。 ④関わり可能な相手から他者との関わりをもち、関わりの輪を広げることができる ⑤繰り返しの簡易動作や運動で、身体作りに取り組むことができる。 2. 授業の流れ ①学級でのバイタルチェック ②朝の会(日程確認など) ③簡易清掃(教室内・教室周辺)活動 ④週テーマの確認と取り組み ⑤2 校時からの授業に備え個別タイム ※火・木の流れ 8:50～9:00 バイタルチェック 9:00-移動(教室→保健室→プレイルーム)&活動(身体作り)
役割分担	指導・支援:学級担任・担当者、もしくは授業に入っている職員
その他	場所:各学級、プレイルーム ※バイタルチェック器具は、教室棚に用意。 健康観察簿→登校時に生徒が保健室からとって教室へ。 ★裏面に詳細あり。確認して下さい。

清掃のコツをコツコツと身につけよう！

日付 毎週金曜日4校時

担当:授業者名

指導目標（森川）の選択					
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
<input type="checkbox"/> 自分の心身の状態を理解できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて自分の体調などを周囲へ伝えることができる。 <input type="checkbox"/> 生活の中で適度な運動をしている。（1） <input type="checkbox"/> 体調の自己管理ができる。	<input type="checkbox"/> 自分が不安なく入れる集団の規模を理解・選択し、必要な関わりを持つことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 自分の気持ちをコントロールして継続した活動ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 学校生活の中で実際の成功体験を積み重ねる。	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度の自己理解ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度の他者理解ができる。 <input type="checkbox"/> 客観的な視点を持つ。 <input checked="" type="checkbox"/> 社会のルールやマナーを知る。 <input type="checkbox"/> 段階的に人と関わる経験を積む。	<input type="checkbox"/> それぞれが可能な情報収集の方法を持つ。 <input type="checkbox"/> 集めた情報から状況を把握する。 <input checked="" type="checkbox"/> 周囲の状況を判断し行動することができる。	<input checked="" type="checkbox"/> 日常生活動作を支える身体をつくる。 <input type="checkbox"/> 日常生活動作ができる。 <input type="checkbox"/> 社会的な場面における移動能力を持つ。	<input type="checkbox"/> コミュニケーションの場や手段（ICT、その他通信機器）を共有する。 <input type="checkbox"/> コミュニケーションの成功体験を積む。 <input checked="" type="checkbox"/> 他者の表現を正確に受け取ることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> それぞれの方法で自分の意思を発信することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 援助・支援を要請することができる。

集団の段階付け・場所・(想定生徒)				
B. 限られた人と関係が持てる。  ※トイレ清掃が厳しい生徒は、教室や廊下の掃き清掃を担当する	C. 3人以上で同席、教室 	D. 校内の集団の場に参加することができる。 	E. 学校外の一般社会で自立して参加できる。	

授業案(簡)	1. 清掃のねらい ～清掃のコツを教えることで生徒を伸ばす効果も得られる～ ①協調性を養う ・決められた清掃の時間の中で、仲間と清掃を行う共同作業を通して、協調性を養う。 ・自分の手が空いた時にはまだ終わっていない生徒の手伝いを行ったりと、相手を思いやる心も育つ。 ②使用教室等をきれいに使うようになる ・清掃の大変さがわかり、日常的に使っている場所をきれいに使おうとする意識が芽生え育つ。 ③働くという貴重な機会になる ・家で働く(手伝う)ことのない、あるいは少ない生徒が、働くという貴重な機会になる。
・内容等	2. 授業の流れ ①グループ分け(2・3年生と1年生のペアリング)、担当職員の割り振り ②清掃の手順に従って、清掃活動を行う。 清掃中は、報連相も意識させる。 清掃終了後は休憩を取らせ、体力・気力の回復につなげる。
役割分担	授業担当: 指導・支援:授業に入っている職員全員
その他	場所:高等部棟1・2階男女トイレ、PC 教室、高多目的室など

I 授業の配置方法や活動内容からみるととれる、高等部全体の成長・変容等に関する所感

① 教科学習では見られない姿が見られる。皆楽しそうに参加していた。
② ヘルスアップでは、興味のあるものを自分で選択しやれるようになっている。
③ 個人差はあるが、集団活動や個人活動を通して「聴く」「話す」「従う」など他人とうまく関わるための基礎的な力（社会性）が育ってきている。
④ 縦・横のつながりの中で、先輩や級友たちの動きをモデリングしながらの行動や言葉の成長がみられる。
⑤ 1 時間目の自活や個チャ・リフトを置いたことで、心理的安定が図られていることが登校生徒の言動からと感じとれる。また、昨年度に比べ勤怠状況の安定さも覗える。
⑥ 活動時の言葉かけや周囲の様子確認と意識の向上で、個々の報告連絡相談場面が増えてきた。
⑦ お互いの特徴（性格・得手不得手）を考慮しなら接することができるようになった。
⑧ 様々な集団活動を経験することで、それぞれの生徒の「社会」（交友関係）が広がった。（本人＋親＋教師＋先輩・後輩・級友）
⑨ 教師の指示を待たず、自分のやりたいことに取り組み生徒が増えてきた。
⑩ 全体的に落ち着いて来たと感じる。
⑪ コミュニケーションの取り方も上手くなってきたと思う。
⑫ 自ら考えて、心を落ち着かせることができる。
⑬ 個人差はあるが、指示待ちから周りの状況をみて、自分で行動するようになっている。
⑭ 朝、担当者が生徒に会えて、本人の状況を把握できるので、生徒たちにも安心感が見られ、1 日が過ごしやすそうである。
⑮ 自活が多いことで、生徒対生徒、生徒対教師の間わる時間が増え、心理的に落ちついて登校できている。
⑯ 同じ活動を繰り返すことで、清掃や給食配膳などの活動や工程を覚え、時短し行えるようになりつつある。
⑰ 仲間や周囲こと（周囲の環境）も見ることができつつある。
⑱ 体験し経験し、身に付いてきた成長が個々に現れ出している。
⑲ 美化活動における意識・意欲・技術の向上を感じる
⑳ 毎日のバイタルチェックの確認により、心身の健康状態を本人及び担当と共有しながら無理なく活動に取り組むことができるようになっている。

II 学年及び個人の成長・変容等に関する所感

① （3 年生）朝の清掃を繰り返すことで、技術も向上し自分たちで主体的に行えるようになった。
② （3 年生）生徒間の連携（横・縦）において中心的な役割（リーダーシップ）を果たすことができる。
③ （3 年生）奉仕の精神が育ってきた
④ （2・3 年生）1・4 校時の自活活動や行事において、主体性と責任感が目に見えて成長している様子が随所でみられる。
⑤ （2・3 年生）ゲームや行事の進行で、物事に対する動き方がわかりどんどん積極的に働けるようになったと思う。
⑥ （2・3 年生）自活内容の固定化や事前学習等で、心理的な不安定さを上手にコントロールできるようになっている。
⑦ （1 年生）自分の内面を見せ始めている。「自分を見せてもいいんだ。」という雰囲気自活を通して作られているからだと思う。
⑧ （1 年生）自活活動中の 2・3 生の動きが良き手本・見本となり、主体的な動きや俊敏な動きが徐々に身につきつつある。
⑨ 登校時には、自分から声をかけ皆を引っ張っていく場面が見られている。
⑩ 自分の居場所や役割が持ってきている。
⑪ 登校時は、休憩するだけではなく皆と過ごそうとして来ている様子が見られる。
⑫ 自分の考えを上手く伝えようと努めている感じがする。継続すればかなり成長すると思う。
⑬ 自分一人で教室に来られなかった生徒が、教室環境への不安が減り一人でも教室まで来られるようになった。
⑭ 嫌々取り組みんでいた掃除活動に、前向きな言動で取り組み始めるようになってきた。
⑮ 今まで教師に頼んでいた重たい荷物の移動運搬に、自ら取り組み様子が増えてきた。（体力がついた？）
⑯ 集団活動に参加する際のオドオド感が減ってきており、表情が良くなった。
⑰ 教科学習への参加はあまり見られなかったが、自活にはほぼ参加できていた生徒がいる。
⑱ 「何で一人でやらないといけないー？」と、スタートすることが多かった生徒が、最近は学校での楽しみを見いだしたことで周囲との関わりがもてるようになり、登校につながっているのではないかと思う。
⑲ 安定した登校とは言えないが、日程表（時間割）をカバンに入れ、今行われている授業を確認する意識がある。

III その他、今年度の「自立活動」に関する意見や感想等

① 限られた時間しか担当に入っていないので、全体の動きが余りわからない。
② 保健関係行事、校外学習など区別がつきにくい。
③ 振り返りシートでの改善が必要（金 4 校時のみで活用されているが本来は全ての自活で記録予定だったかと思う。生徒がつけやすいように数字のパロメータだけにし、心身の状態を把握しながら活動内容の精選や改善、生徒支援にあたる等の参考資料にもなるのでは？）
④ 金の連続時間やゲームを各担当者が担ったことで、趣向を凝らした活動内容になり生徒たちへの良い刺激になったと思う。生徒の興味関心の広がりがややかならず登校へのモチベーションにもなったかと思う。
⑤ 登校が安定した生徒に対して、次の成長段階へとつなごうとする。登校のかけ方や活動内容の検討が必要かと思う。
⑥ 週 10 時間（実質 12）自立活動と年計を通して運営する中で、職員の連携や協力は不可欠となる。各活動で担当者を立てて分担できたのは良かったと思う。
⑦ 対象となる生徒の実態も次々と変化（成長）していくと思われる。適宜、目標や活動内容の見直し（工夫）も重要だと思われる。
⑧ 一部の職員に負担が集中することがないよう、次年度に向けた整備が重要。
⑨ 年間計画をきちんと立てられれば楽になりそうですが、子供たちの状況に合わせていくので中々うまくできないうというもどかしさを感じる。
⑩ 1 校時の自活に担当者が入れれば、生徒の心理的安定にもつつながると思う。
⑪ 行事の事前・事後学習はとも大事が必要だが、苦手と感じている生徒もいる。その子にどう対応したらいいのか、どの段階にいるのか見極めるのが難しい。
⑫ 個々に行う自活としてのコマはないが、小集団の中で職員が共通理解のもと進めているので、妥当だと感じる。
⑬ 一般中学校からの生徒は、自活という時間が不安なようであった。「何やるの？」「どんな授業？」登校が安定しない生徒担当になると進め辛さを感じることがあった。だが、職員が協力し楽しく活動を行ってれば生徒がついて来てくれた。
⑭ 各学年、生徒の実態の違いで成長差を感じる。
⑮ 今年の PC 活動は約半年足らずであったが、入力が上達している生徒もいる。
⑯ 他中学校からの生徒は活動の経験差があるが、苦手なことにも時間をかけてゆくり取り組むことでできることが増え、成長を感じる。

【参考資料 3】アンケート結果（記述）